

TOP GLOBAL UNIVERSITY JAPAN

Prime

Okayama University

PRactical Interactive Mode for Education



Move on Now

Okayama University
PRactical Interactive Mode for Education

この岡山の土地には、
閑谷の昔から豊かな歴史と文化に裏付けられた
“実践人教育”が受け継がれてきた。
どんなに時が流れ、世界が複雑化しようと、
私たちがすべきことはただ一つ。
世界で活躍できる次世代を社会に送り出すことである。
さあ、今こそ私たちのウェルビーイングを世界に届けよう。
岡山大学でのグローバルな実践が
人を変え、地域を変え、世界を変える。

Index

- p.03-04 MISSION / 学長メッセージ
- p.05-06 PRIMEプログラム
- p.07-08 グローバル・ディスカバリー・プログラム
- p.09-10 ヘルスシステム統合科学研究科
- p.11-12 グローバル実践型教育 / VISION
- p.13-14 岡山大学 × SDGs

Mission

2023年、世界に存在感を示す 岡山大学になるために

学生と教職員は高度な能力を身に付けて世界に出かけ、また世界から優れた学生や教員及び研究者を岡山大学に迎え、岡山大学を世界に向けて創造的な知の成果、技の結実を発信する大学に進化させます。

人のかえ、地域のかえ、世界のかえ、10年後、世界に存在感を示す岡山大学になることを目指しています。



2023年 人のかえ、地域のかえ、世界のかえ、10年後、世界に存在感を示す岡山大学に

2014 ————— 2023

Message from the President

グローバルに活躍できる実践人に

2014年、本学は、グローバル人材の育成や教育の国際化を積極的に進める大学として、文部科学省から事業の指定を受けています。この事業は、世界レベルの教育研究を行い、国際化を牽引する大学を支援するもので、地域に根ざし、そして日本の国際化を牽引する大学として教育研究改革を推進し、未来を見据えてグローバルに活躍できる実践人を育成するという目的のもと、全学体制により様々なプログラムを展開しています。

「実践人」とは、実践の現場で適切な判断をくだすことができる能力—実践知—を有する人です。現代社会の課題を認識し、現場での自律した実践を展開するためには、語学力や豊かな教養、高い専門性だけではなく、具体的な社会の現場での実践経験が求められます。

今後ますます複雑な課題に直面するであろう人類社会において、岡山大学の目的である「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」のもとに、社会課題を発見・解決する実践力を持つグローバル人材の育成と、地域と国際社会とのより一体的なパートナーシップを構築して、持続可能な社会を実現します。本学は人のかえ、地域のかえ、世界のかえ、世界に存在感を示す岡山大学になることを目指します。

国立大学法人 岡山大学長

榎野博史

Prime

PRactical Interactive Mode for Education

世界で活躍できる「実践人」を育成する

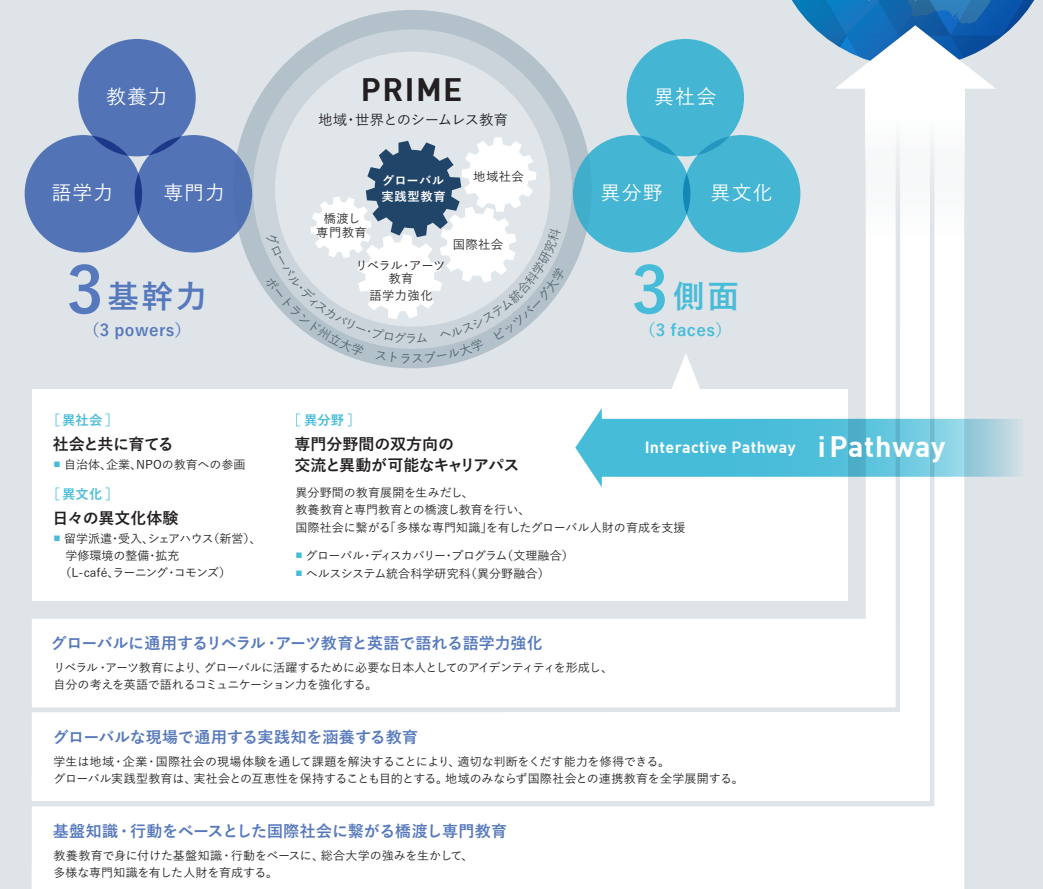
— 人をかえ、地域をかえ、世界をかえる —

PRIMEプログラム

(PRactical Interactive Mode for Education)

世界で活躍できる「実践人」を育成する！

3×3 教育 (3基幹力の修得と
3側面の経験)



グローバル 実践人を輩出

※実践人とは、実践の現場で
適切な判断をくだすことができる
能力(実践知)を有する人

本学は、PRIME (PRactical Interactive Mode for Education) プログラムを本構想のコアとした国際社会連携教育体制を全学展開しています。本構想により学生は3基幹力／3 powersを知識として持つだけでなく、3側面／3 facesの経験によりグローバルな現場で試す機会を持つことができ、現場に必要な、対話力、創造力、行動力、統率力、決断力を涵養し、実践の現場で適切な判断をくだすことができる能力(グローバル実践知)を身に付けることができます。

また、学生と教職員は高度な能力を身に付けて世界に出かけ、また世界から優れた学生や教員及び研究者を岡山大学に迎え、岡山大学を世界に向けて創造的な知の成果、技の結実を発信する大学に進化させます。

iPathway とは

専門分野間の双方向の交流と
移動が可能なキャリアパス

専門分野間の双方向の交流と異動が可能なキャリアパス、「iPathway」を設定します。「iPathway」は、異分野間の教育展開を生みだし、また教養教育科目と専門教育科目との橋渡し教育を行い、国際社会に繋がる「多様な専門知識」を有したグローバル人材の育成を支援します。

グローバルに通用するリベラル・アーツ教育と英語で語れる語学力強化

リベラル・アーツ教育により、グローバルに活躍するために必要な日本人としてのアイデンティティを形成し、自分の考えを英語で語れるコミュニケーション力を強化する。

グローバルな現場で通用する実践知を涵養する教育

学生は地域・企業・国際社会の現場体験を通して課題を解決することにより、適切な判断をくだす能力を修得できる。グローバル実践型教育は、実社会との互恵性を保持することも目的とする。地域のみならず国際社会との連携教育を全学展開する。

基盤知識・行動をベースとした国際社会に繋がる橋渡し専門教育

教養教育で身に付けた基盤知識・行動をベースに、総合大学の強みを生かして、多様な専門知識を有した人材を育成する。

Diversity

グローバル・ディスカバリー・プログラム Discovery Program for Global Learners

グローバルに活躍する夢をかなえるために必要な力—それは専門力、課題発見力、解決力。そして異なる価値観・環境への適応力や異分野間の協働を可能にするコミュニケーション力です。国際機関で社会貢献したい、グローバル企業で活躍したい、地域と世界をつながたい。そんなあなたのための学びが始まります。

〈プログラムの特色〉

海外生と国内生が、英語を共通言語として共に学ぶ学士課程プログラム「グローバル・ディスカバリー・プログラム」は、学部・学科の境界を超えて多様な専門知識と実践を学ぶ総合大学ならではのグローバル人材育成教育プログラムです。

〈カリキュラムについて〉

文理融合の全学プログラムとして開設し、英語のみで卒業できる「ディスカバリー専修トラック」と、学部授業を組み合わせる履修する「学部・学科横断型マッチング・トラック」を設定しています。

〈入学者の多様性〉

2017年10月開設時、国際入試によって78人の志願者から16ヵ国31人が入学しました。学部・学科の境界を超えた多様な学びの場を、多様な国・文化背景の学生に提供することで、21世紀の未来を切り拓く人材を輩出します。

このプログラムで身に付く力



既存の枠組みにとらわれず、自ら課題を発見する力



自ら発見した課題の解決に必要な専門知識、調査手法



情報を収集する力、多角的・創造的に分析する力と社会に向けて的確な情報を効果的に発信する力



多文化環境に適應できる感性と語学力



パンディタ スサムポン Pandita Suthamporn
岡山大学 グローバル・ディスカバリー・プログラム

グローバル・ディスカバリー・プログラム に入学して

本プログラムの一員になったお陰で、ユニークで特別な大学生活を送っています。先生や友人の助けを受け、クラス内外で興味や情熱を高め、スキルを磨き、能動的に学ぶ事ができています。これ以上の経験は望めなかったと思うので、大変嬉しく感じています。



Innovation

ヘルスシステム統合科学研究科 Interdisciplinary Science and Engineering in Health Systems

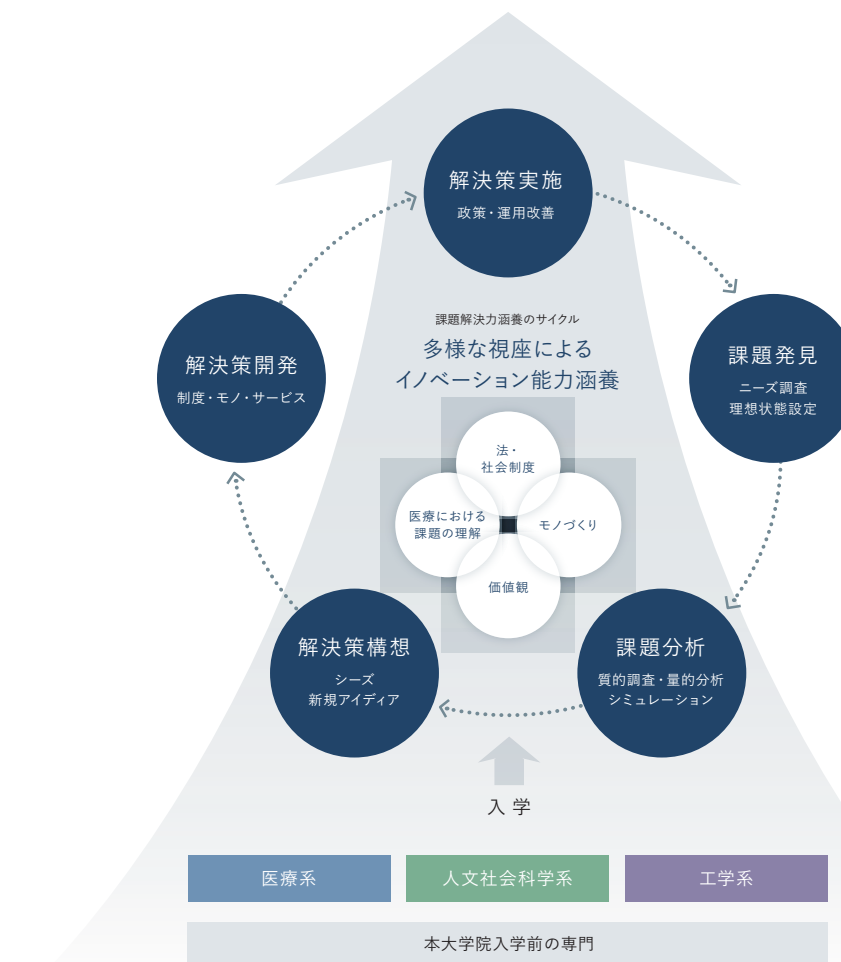
医療現場を構成する人々としくみ(ヘルスシステム)の課題を理解し、研究及び技術開発、そして物質面及び人間の理解を併せ持つことで、個人の専門分野を活かしつつ他分野を理解できた上、社会において活用されるモノやアイデアを他者と協働して創出することで、課題の解決に貢献しイノベーションの基盤を支える人材を育成します。

専攻名称：ヘルスシステム統合科学専攻(博士前期課程)
ヘルスシステム統合科学専攻(博士後期課程)
学位の名称：修士(統合科学)、博士(統合科学)

〈人材育成サイクルに対応したカリキュラム〉

①自然・社会(現場を構成する人々としくみ)に対し②それを観察解析する学術を行い③構成的な学術として、その知見を応用してものづくりや新制度考案などアイデアを他者と協働して創出④その成果であるアイデアを応用する活動が①自然・社会(現場現場を構成する人々としくみ)を相手にしていく(社会での活用)という4群の活動が循環するサイクル、すなわち、「社会において活用されるモノやアイデアを創出」するために、このサイクルを意識して「統合科目」及び「専門科目」を配置しています。

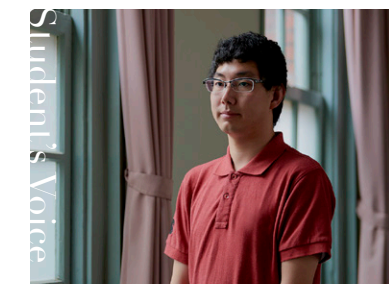
専門性に軸足を置いた研究



問題解決はいくつかのフェーズを経る活動を循環させて結果が得られます。医療系、人文社会科学系、工学系は学部で学んだそれぞれの専門知識を活かして、役割分担します。その際に、「多様な視座」を学ぶことにより、他分野の活動も理解して問題解決にあたります。これにより、制度設計、モノづくり、医療に対する客観的理解が深まるとともに、他者と協働してイノベーションを生む能力を身に付けることが可能となります。修了生はそれぞれの専門分野に関連してヘルスシステム統合科学がカバーする進路先において活躍します。

専門性を活かした修了後の進路の例

医療系	人文社会科学系	工学系
介護施設(管理部門) 製薬系企業 病院(経営管理部門)	公務員 大学教員 情報関連企業 コンサルティング企業	バイオ創薬系企業 素材産業 医療機器・医用材料系産業 機器製作企業 IT・AI系企業



藤井 雅利 Masatoshi Fujii
岡山大学 大学院
ヘルスシステム統合科学研究科

社会と大学をつなげるための研究を行っています

私は統合科学を専攻し、「ヘルスシステム」を含むSDGsを共通言語とした社会の課題と大学のつながりの創出について取り組んでいます。自然科学、人文社会学といった多様な視座を統合させ、新たな知を創出することがヘルスシステム統合科学研究科の特長です。地域社会に貢献し、世界に通用する研究を生み出すべく日々精進を重ねています。

Approach

グローバル実践型教育

Global Practical Education

SDGsとの共鳴で加速する実践型社会連携教育プログラム

大学と地域・企業・国際社会との互惠性が保持された取組であるグローバル実践型教育を全学で展開しています。留学生と日本人学生が学部横断でチームを組み、地域や世界の歴史・文化・産業を共に学びます。座学で得た知識を持って社会の現場に出かけ、就業体験等を通して、社会が直面する課題に、学生と社会が協働して取り組みます。学生はボーダーレスな視点で課題解決ができるグローバル実践知を習得し、社会の課題解決に取り組みます。



A:「倉敷市水島から学ぶ地域社会と環境」プログラム
B:「国際インターンシップ」での林業体験



吉川 幸 Miyuki Yoshikawa
岡山大学 実践型教育プランナー

社会の持続可能性を考え、
貢献できる人へ

教養科目「国際インターンシップ」では就業実習の前後の教育も大切にしています。林業は多くの学生にとって自分の学問領域とは異なる分野ですが、「森林の課題を工学の視点で見ると?」「労務の課題は?」のような問いかけをすると、学生は社会と学問のつながりに気づき、専門科目を学ぶ意義を見出します。それが社会課題解決に貢献する姿勢を育むと思います。



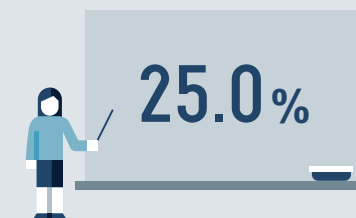
瀬崎 景己 Hiroko Sezaki
岡山大学 文学部 人文学科

「あたりまえ」への
気づきが生んだ改善提案

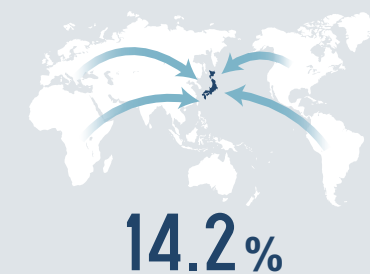
外国人従業員が多い工場でも注意表示は漢字表記であることに気づき、ピクトグラム化を提案しました。気付く力や正確に伝える力は大学での研究ノート作りや発表と共通し、普遍性を探究し頭で反応する大学と、場の状況に合わせて即興的に反応する職場を結ぶ繋がりが見えました。また、地元企業が業界内で活躍している様子を知り、地元企業を見直すきっかけになりました。

Vision — 2023年までの目標 —

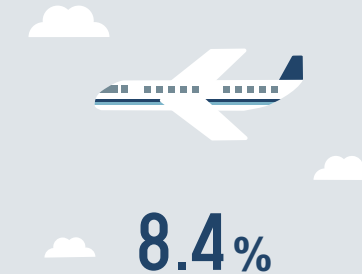
教職員に占める女性の比率
(女性教員)



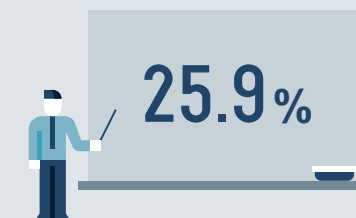
全学生に占める
外国人留学生の割合



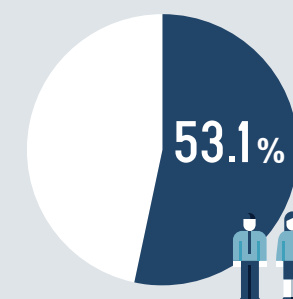
日本人学生に占める
留学経験者の割合



外国語による
授業科目数・割合



年俸制の導入
(教員)



異文化交流
体験率

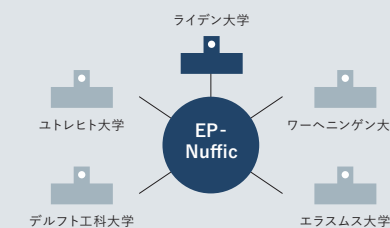


高度実践人数



EP-Nuffic

(旧、オランダ高等教育国際協力機構)



2018年度より約20人のライデン大学学部生を
3ヶ月間短期受入開始

SDGsを共通言語に、 「グローバル実践人」の育成を加速化

岡山大学の「PRIMEプログラム」は、国際化を牽引する大学として存在感を高め、地域に根ざし、世界に輝くことのできる実践人を育成する取組です。2017年度からは、「PRIMEプログラム」をよりグローバルな視点に立つ取組とするために、2015年度に国連より提唱された「持続可能な開発目標（SDGs）」を世界と繋ぐ共通言語として国際化を推進しています。SDGs達成の観点を取り入れることで、社会課題を発見・解決する実践人を育成し、地域や国際社会との一体的なパートナーシップを構築します。



「SDGs」とは？

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称。2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに達成するための国際社会共通の目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール(目標)で構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものです。

Pick up

第1回「ジャパンSDGsアワード」 特別賞を受賞

政府のSDGs推進本部(本部長・安倍晋三内閣総理大臣)が優れた取組を進める企業・団体などをたたえる第1回「ジャパンSDGsアワード」において、国立大学では唯一岡山大学が選ばれ、特別賞「SDGsパートナーシップ賞」が授与されました。



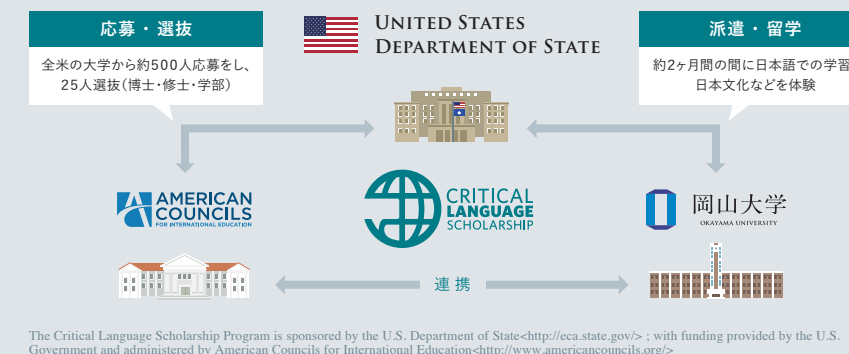
SDGs取組紹介

岡山から世界へ、世界から岡山へ。SDGs達成に向けたグローバルな実践



「クリティカル・ランゲージ・スカラシップ (CLS)」を採択 アメリカ国務省から選抜された25人の留学生を受け入れ

本学は、米国国務省・教育文化局が運営する「米国国務省クリティカル・ランゲージ・スカラシップ (CLS) 日本プログラム」に採択されました。本プログラムは、全米の大学から集う約500人の応募者の中からトップレベルの大学学部生や大学院生を25人選抜し、日本の大学で日本語と日本文化を学ぶことができる2ヶ月間の短期留学プログラムです。本学では地域を活かした課外活動やホームステイ活動等を提供し、全学レベルで進めているSDGsやESD(持続可能な開発のための教育)を通じた人材育成拠点として、グローバル教育を一層推進していきます。



世界ユースサミット「One Young World 2018」に 岡山大学の学生が日本代表として参加

オランダのハーグ市で開催された世界ユースサミット「One Young World(OYW) 2018」に本学の学生2人が日本代表団の一員として参加しました。OYWは、世界190カ国以上から各国を代表する次世代の若いリーダーたちが一堂に会する世界最大級のサミットです。世界が直面する地球規模の課題に対し、次世代リーダーたちが連携して問題を解決するための全世界合同産官学連携による育成プロジェクトとして、その規模とネットワークを急速に拡大し続けています。本学は、2015年タイ・バンコク市で開催されたサミットから公式パートナーとして参画し、毎年2人の学生代表を派遣しています。また本学の出場は、2015年のサミットから4大会連続です。学生2人は全体セッションやワークショップ、ネットワーキング(交流会)などに参加。SDGsを枠組みとしながら、気候変動から戦争と平和、教育、人権、リーダーシップ、グローバルビジネスなど、多岐にわたるディスカッションを行いました。





岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



TOP GLOBAL
UNIVERSITY
JAPAN

2019年1月発行 岡山大学 総務・企画部 大学改革推進室
<https://www.sgu.ccsv.okayama-u.ac.jp/>

※掲載内容につきましては、発行当時のものです。